

# ねふたまつりコンテスト審査基準

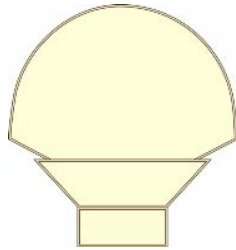
## I. 構造

▽組ねふた：①がく、ひらき、板隠、蛇腹、その上に高欄があり、背面には、見送り、袖があること。

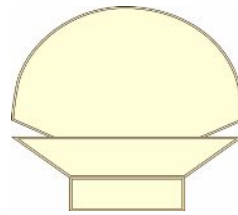
②バランスのとれた人形の配置と動きのある造形であること。

▽扇ねふた：①がく、ひらき、背面には、見送りがあること。

②バランスのとれたがく、ひらき、扇のたまりであること。



扇のたまりとひらきの  
バランスがとれている



全体的につぶれた感じで、ひら  
きが大きく、扇のたまりとひらきの  
バランスが悪い例

## II. 絵

▽鏡絵は、武者絵等の躍動感溢れる絵柄で「動」を表現し、見送り絵は、美人画等で「静」を表現する。

▽袖絵は、見送り絵を引き立てるようなものを描くこと。ろうや、色の濃淡を効果的に使い、かつ色彩が綺麗であること。

▽額絵：額の前面には「雲漢」の文字、左右の面には進行方向を向いた武者絵、後面には、後方より見て正面を向いた武者絵を描くこと。



額正面には、「雲漢」の文字を書くが、正面から見たときは、「漢雲」になっていること



⇒ 進行方向

本体左の額には、武者絵(男性のことが多い)を描くが、人物の眼が進行方向を見ていること



← 進行方向

本体右の額には、武者絵(女性のことが多い)を描くが、人物の眼が進行方向を見ていること



額後面には、武者絵(男性のことが多い)を描くが、後方より見て人物の眼が正面を見ていること

▽ひらきには、牡丹を描くこと。

▽「落款」は、余り目立ち過ぎずに、絵全体のバランスを崩さないこと。

### Ⅲ. 運 行

▽運行形態（運行責任者・町印（団体印）／前燈籠・前ねぶた・大型ねぶた・太鼓・囃子）が守られていること。

▽前の参加団体とは適度な距離を置き、極端に運行が遅れていないこと。

▽囃子に合わせて、かけ声が元気良く大きく揃っていること。

▽引き手、囃子手、その他運行に携わっている者の運行態度がよく、統制のとれた隊列であること。

▽服装や運行形態などに工夫、努力がされてあるものは奨励する。

▽いわゆる“カラス”のような格好、公序良俗を乱すような格好は慎むこと。

### Ⅳ. 囃 子

▽旋律、リズムが弘前ねぶたの囃子であり、笛、太鼓の調和がとれていること。

▽奨励するものではないが、手摺り鉦を使用する場合は、過度にならないこと。

＊手摺り鉦の音だけが強く、笛の音が消されることのないように

＊構造・絵・運行・囃子は、各10点で40点満点とする。

＊点数公表を希望する団体には、「構造・絵」および「運行・囃子」の点数を後日封書で通知公表する。

#### 【奨励する事項】

審査基準ではないが、弘前ねぶたの伝統を後世へ傳承することを目的に次のことを奨励事項とする。

▽「組みねぶた」の奨励

▽きんちゃく、ホラ貝、錫杖、ささら、さしまた等、近年少なくなった道具の使用。

▽笛、太鼓のみの囃子構成。かつぎ太鼓。

▽囃子のリズムに合わせた「おっ、」という掛け声。

▽鏡絵、見送り絵、袖絵に何らかの統一性（一連の流れ）が欲しい。

＊中国もの（「三国志」「水滸伝」など）なら、中国もので統一  
和もの（「為信」「川中島の戦い」など）なら、和もので統一